



古い町家を手入れして守る

NPO法人古家改修ネットワーク代表 荒木 勇さん

ある日、いきなり玄関のベルを鳴らす音が…。「近くのお宅の屋根を直している〇〇ホームサービスの者です。現在、無料点検キャンペーンを実施しています」とセールスマンの声がします。「ちょっとすみません。失礼します」といい、いきなり屋根にはしごをかけて昇りだした。「奥さんたいへんですよ。これを見てください」。セールスマンの手にはポラロイドカメラで撮った写真が数点。「このままだと大変な事になります」。

このように、言葉巧みにリフォームをすすめられるケースが多発したのを受け、少しでも被害を食い止めようと発足したのが、NPO法人古家改修ネットワークです。

「もし一言相談いただいていたら、もっと安く直す事ができたのに…」「もっとお住まいを長持ちさせる事ができたのに…」と思う事がたびたびありました。このままでは、地元で真面目に働いている業者まで一緒に見られてしまいます。

そこで、設計・大工・塗装・左官・水道といった様々な建築関連業者さんに参加をいただき、京都にお住まいの方が気軽に相談できる窓口を設けたいと考えました。

当初は大変たくさんの問い合わせをいただきましたが、2008年特定商取引法の大改正により、悪質なケースは激減。これは大変嬉しい事なのですが、もしだまされていても施主が気づかないように巧みになっているので、今後も注意喚起をしていきたいと考えています。

当NPOのもう一つの柱は、古いお住まいを残していく活動です。

京都には市内全域で4万8000軒近くの町家が残っています。しかしながら、高齢化が進み、空き家も増え、手入れされないままどんどんその数を減らしています。これだけ資源を大切にしようと言われている時代なのに大変残念でなりません。見た目は古くても昔の人が一所懸命に作られた家です。早目に手入れをし、大切に使えばまだまだ住み続ける事ができます。自分で手入れをすれば愛着もわきますし、建築知識も身につきます。

そこで、この10月から、一般の方を対象に「京町家・古家改修実践講座」をスタートさせる事になりました。国土交通省からの補助金を活用し、全10回で計画しています。

こうした活動を通じて古い家を大切にしてお手伝いをし、少しでも街



並みを残していく事に貢献できたらと願ってやみません。大変たくさんの反響をいただき、会場や材料の準備に追われていますが、少しでもたくさんの方に参加いただきたいと計画中です。もし、ご興味のある方がいらっしゃったらご一報ください。お待ちしております。



【講座概要】第1回オリエンテーション「自分で直せる所の見きわめ方」10月2日(土)18時、四条京町家(下京区四条通西洞院東入)。参加費無料。第2回目以降は左官・瓦・塗装・障子等を予定しています。申し込み・問い合わせ ☎075・882・8721 / ㊚075・872・0223 (NPO古家改修ネットワーク)。詳細は ㊚(<http://www.kyoto.zaq.jp/reform/>)を参照して下さい。